



# 株式会社ラック

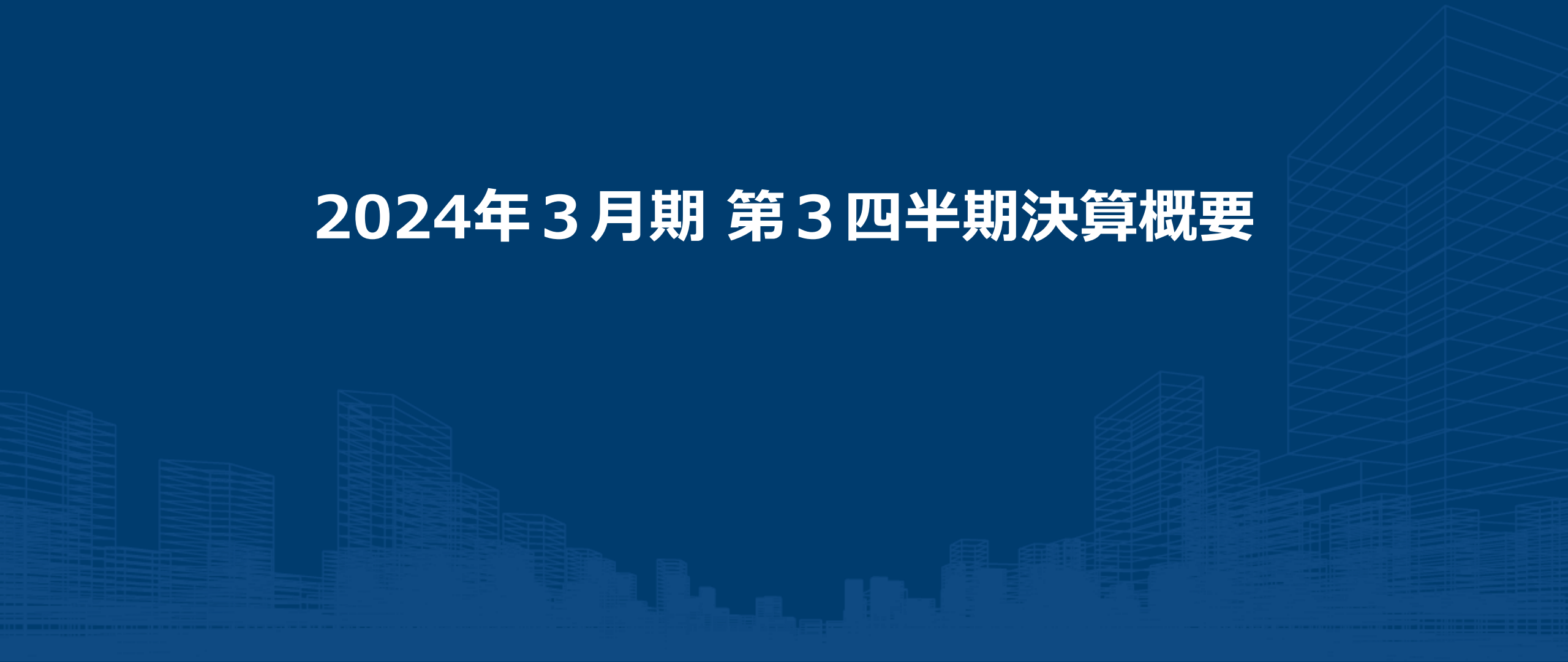
## 2024年3月期 第3四半期決算説明資料

2024年2月8日

## 目次

1. 2024年3月期 第3四半期決算概要
2. 2024年3月期 連結業績予想
3. 補足資料
4. 会社紹介

# 2024年3月期 第3四半期決算概要



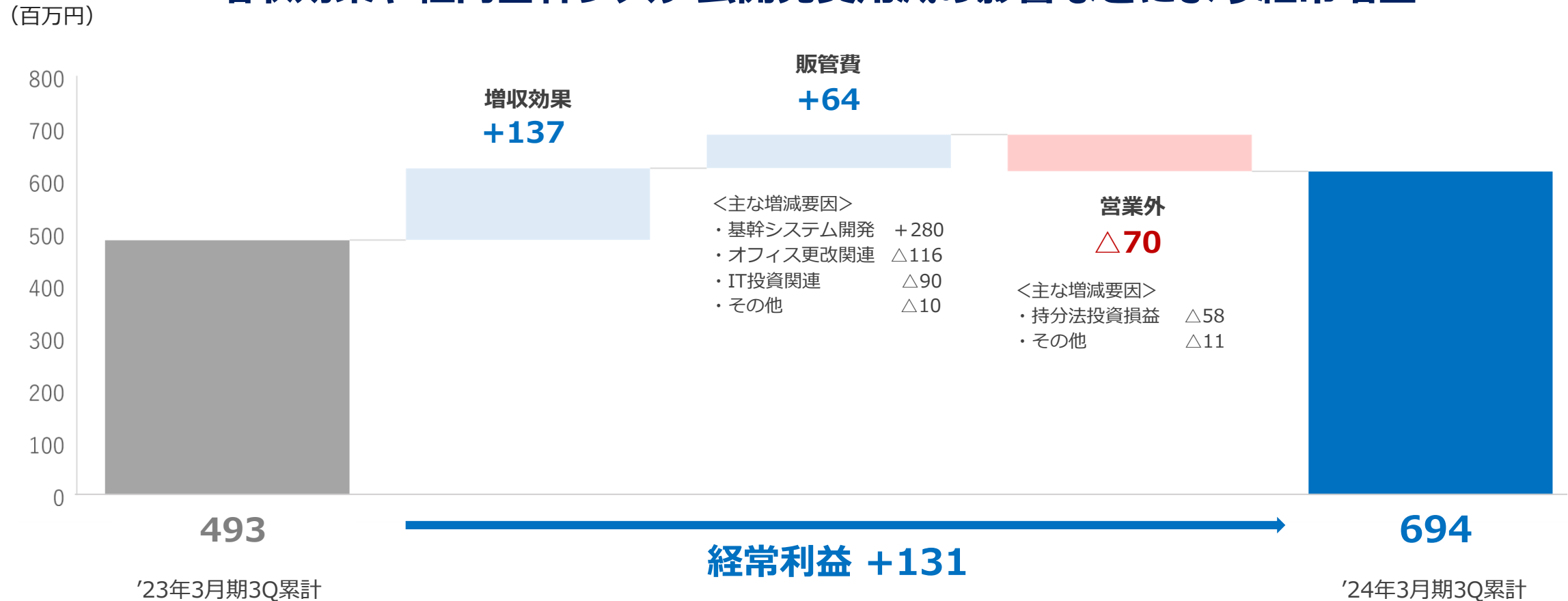
売上高はセキュリティ事業、SI事業の伸長により増収  
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅増益

（百万円）

科目	'23年3月期 3Q累計実績	'24年3月期 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	31,167	35,290	+4,123	+13.2
営業利益	493	694	+201	+41.0
営業利益率%	1.6	2.0	+0.4p	-
経常利益	487	618	+131	+26.9
経常利益率%	1.6	1.8	+0.2p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△1,050	373	+1,423	-

（注）2023年3月期第3四半期連結会計期間に社内基幹システム開発の中止に伴う特別損失として1,820百万円を計上しています。

## オフィス更改関連費用の計上や IT投資の増加、持分法投資損失の増加などがあったものの 増収効果や社内基幹システム開発費用減の影響などにより経常増益



(注) 1. オフィス更改関連の費用は、平河町オフィス（2025年3月に賃貸借契約終了予定）の契約更改に伴う原状回復費の資産・負債計上および既存資産の見積り変更による減価償却費増加分等によるものです。

2. 持分法適用関連会社としてKDDIデジタルセキュリティ(株)、ニューリジェンセキュリティ(株)の2社があります。

セキュリティ事業は増収・減益、SI事業は増収・増益  
全社共通費用は社内基幹システム費用減の影響などにより減少

(百万円)

売上高	'23年3月期 3Q累計実績	'24年3月期 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	13,637	15,044	+1,407	+10.3
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	17,530	20,246	+2,715	+15.5
合計	31,167	35,290	+4,123	+13.2
セグメント利益	'23年3月期 3Q累計実績	'24年3月期 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	1,264	865	△398	△31.5
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	2,299	2,729	+430	+18.7
合計	3,563	3,595	+31	+0.9
全社共通	△3,070	△2,900	+170	-

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の事業にかかる販売費及び一般管理費を含めた利益です。



## 製品販売や運用監視サービスなどが拡大し増収

### 大型案件の先行稼働や事業体制・サービス力強化のための先行投資等の影響により減益

#### セキュリティコンサルティングサービス

緊急対応サービス案件の減少はあったものの、体制・対策強化に向けたコンサルティング案件の拡大や標的型メール訓練など教育サービスが伸長したことで増収

#### セキュリティ診断サービス

年間で手掛ける大型案件の売上が期末の一括計上となっている影響があったものの、潜在的な脅威を調査するペネトレーションテストの案件が拡大したことで増収

#### セキュリティ運用監視サービス

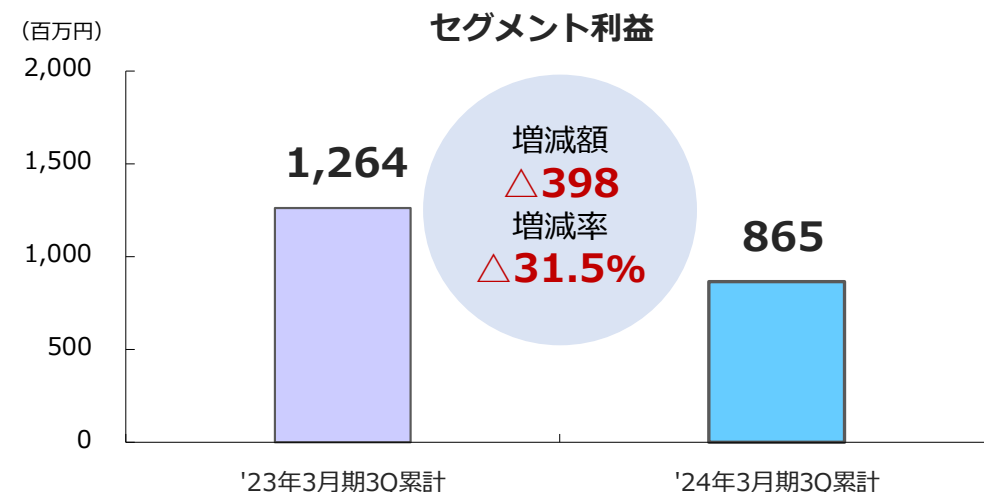
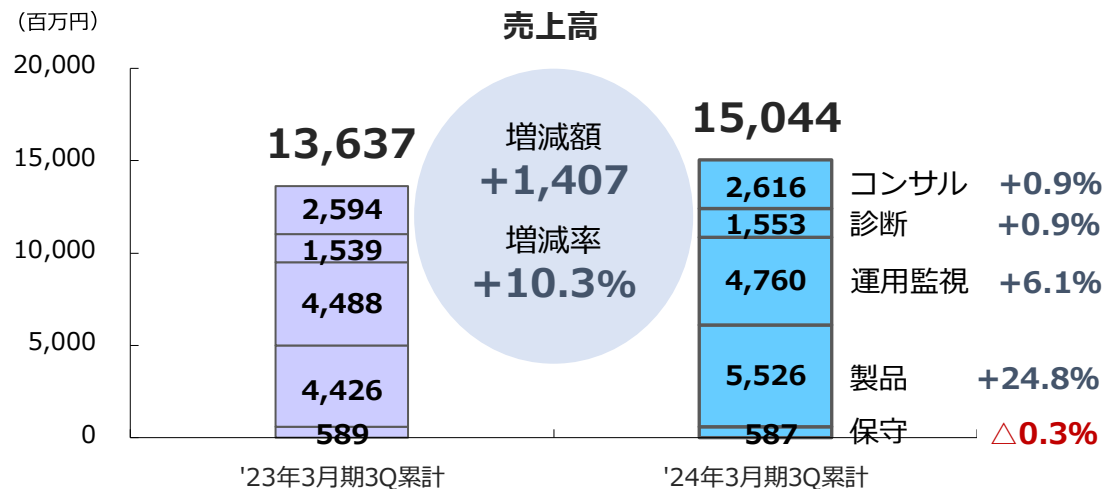
特定企業向けに高度な対策を行う個別監視サービスや内部不正監視サービスが伸長するとともに、エンドポイント対策支援サービスが拡大したことにより増収

#### セキュリティ製品販売

エンドポイント対策向けおよびサービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策向けクラウド対応製品や、潜在的な脅威情報の分析製品などが大幅に拡大し増収

#### セキュリティ保守サービス

クラウド対応製品の拡大等で需要が縮小傾向にあり、既存案件等が減少したことにより減収



（注）第1四半期連結会計期間より、以下のとおりサブセグメント間で事業の組み替えを行っています。それに伴い、前年同四半期を変更後の数値に組み替えて表示しています。

- ・ エンドポイント対策支援サービス：コンサルティングサービス → 運用監視サービス
- ・ 標的型メール訓練サービス：診断サービス → コンサルティングサービス

## 開発サービスやHW/SW販売などが伸長し増収・増益

## 開発サービス

大手銀行やクレジットカードなどの金融業向け案件に加え、公共向け案件が大幅に伸長したことにより増収

## HW/SW（ハードウェア・ソフトウェア）販売

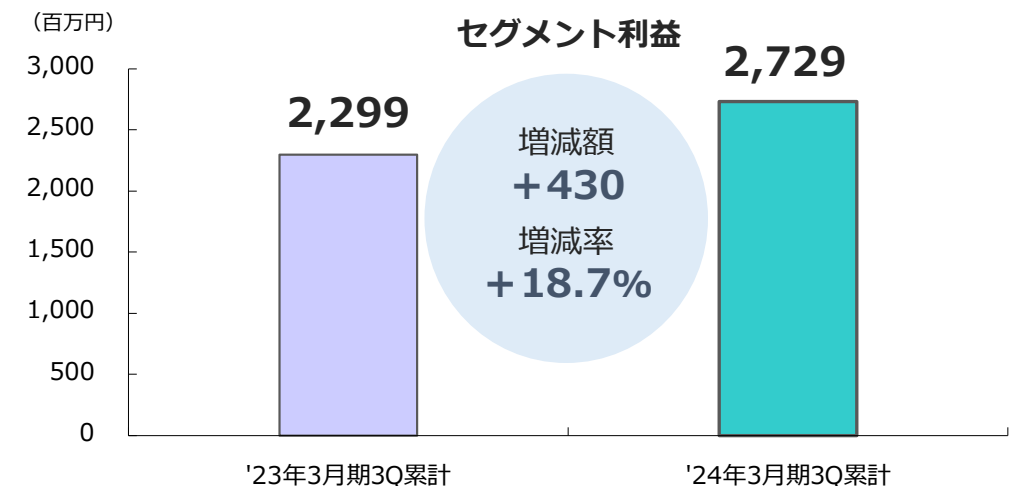
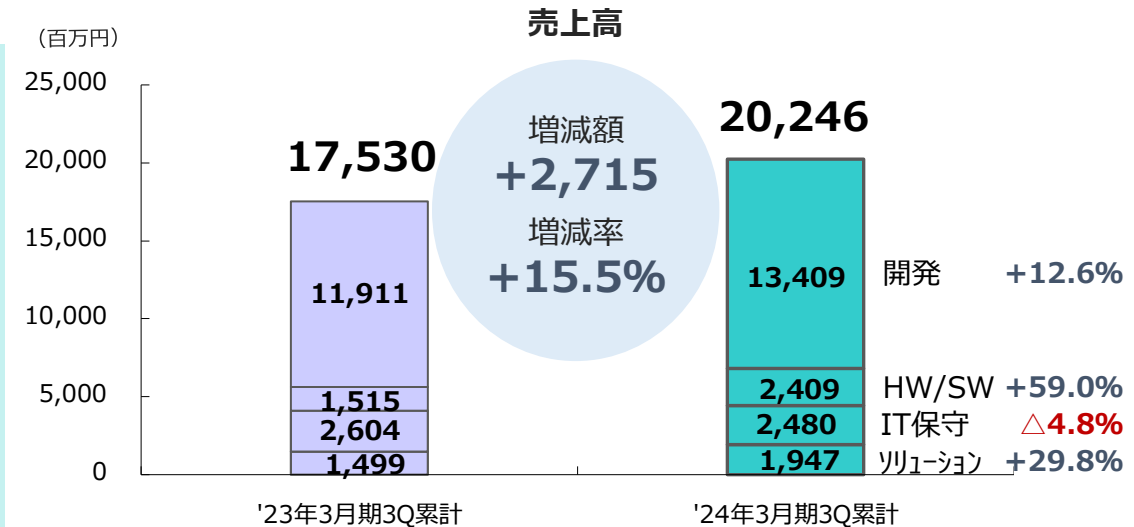
クラウドサービスの拡大等で需要は縮小しているものの、更新案件等の獲得により大幅に伸長したことで増収

## IT保守サービス

更新案件等が減少したことにより減収

## ソリューションサービス

サイバーセキュリティ対策にも寄与するクラウドソリューション製品の販売が拡大したことで増収





持続的な成長投資を可能とする安定した財務基盤を維持

(百万円)

科目	‘23年3月期末	‘23年12月末	前期末比 増減
資産合計	22,572	21,345	△1,227
流動資産	15,931	14,808	△1,123
固定資産	6,640	6,536	△103
負債合計	7,752	6,966	△785
流動負債	7,410	6,351	△1,058
固定負債	341	614	+272
純資産合計	14,820	14,378	△441
現預金	6,144	5,144	△1,000
有利子負債	1,460	138	△1,322
自己資本比率	65.7%	67.4%	+1.7p

増減ポイント	
資産	
【流動資産】	
現金及び預金の減少	△1,000
受取手形、売掛金および契約資産の減少	△598
商品の増加	+518
負債	
【流動負債】	
買掛金の増加	+510
1 年内返済予定の長期借入金の減少	△1,336
純資産	
【純資産】	
利益剰余金の減少	△427

# 2024年3月期 連結業績予想

当第3四半期連結累計期間における業績は概ね順調に推移しているものと判断していること、また当社の業績は第4四半期連結会計期間に偏重となる季節性があることなどから2023年5月12日発表値から変更ありません。

売上高、利益とも増収増益を予想

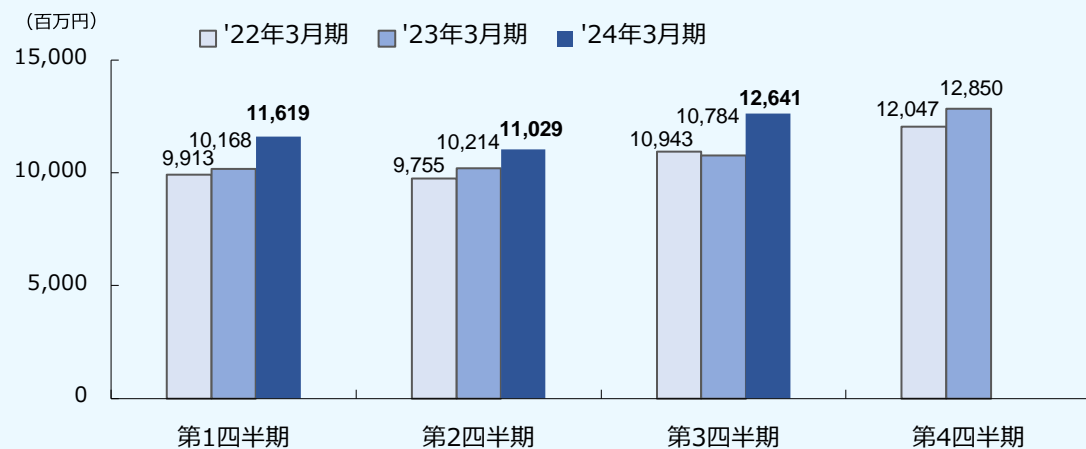
(百万円)

科目	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	44,018	46,500	+2,481	+5.6
営業利益	1,775	1,900	+124	+7.0
営業利益率%	4.0	4.1	+0.1p	-
経常利益	1,813	1,900	+86	+4.8
経常利益率%	4.1	4.1	△0.0p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△147	1,250	+1,397	-
自己資本当期純利益率(ROE)%	△1.0	8.3	+9.3p	-

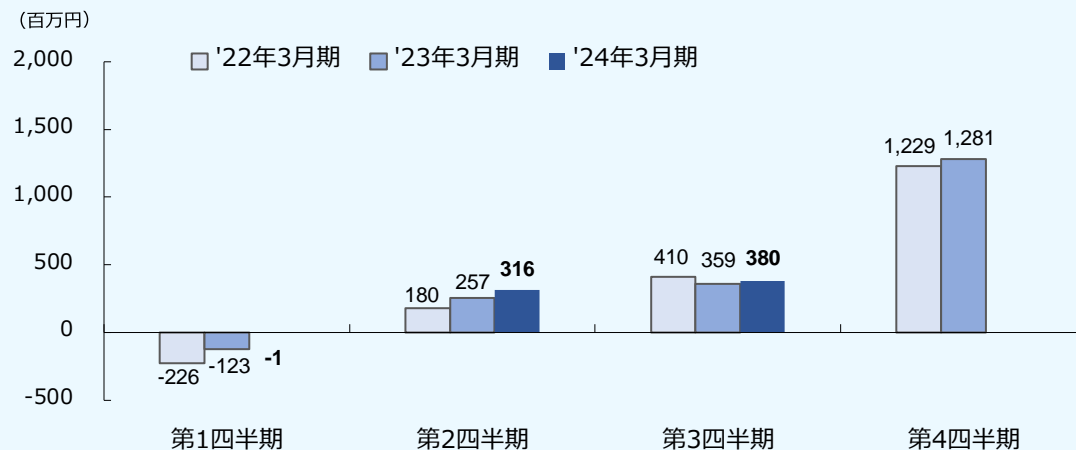
# 補足資料



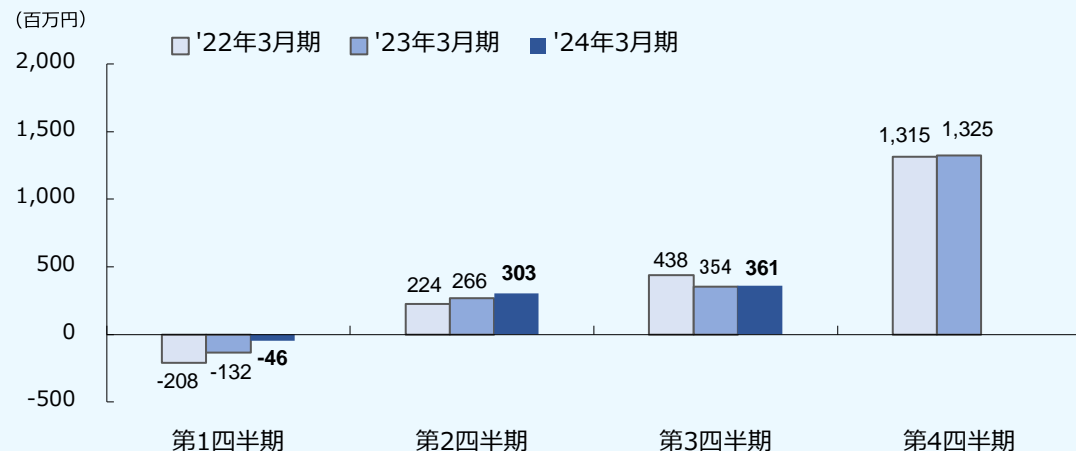
## 売上高



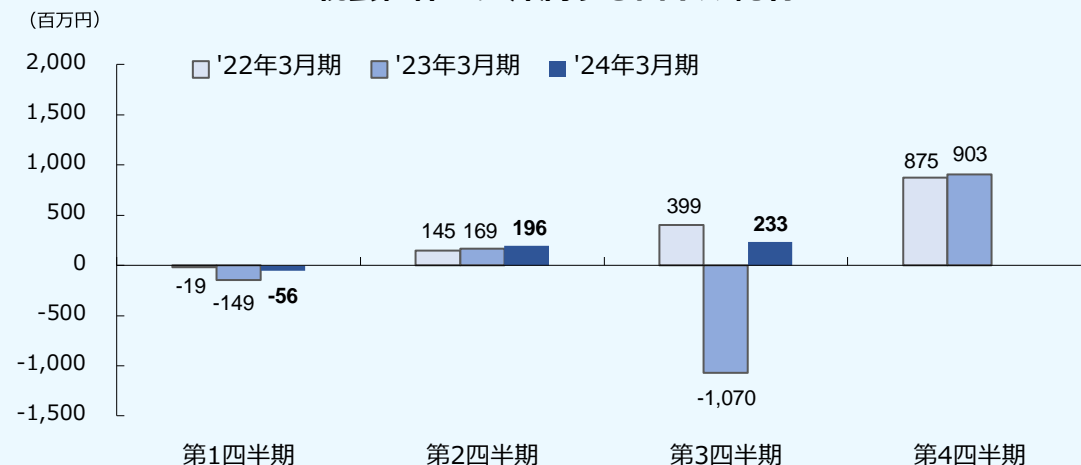
## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する四半期純利益



# 連結業績・セグメント別推移（四半期）



(百万円)

連結業績12	'22年3月期				'23年3月期				'24年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	9,913	9,755	10,943	12,047	10,168	10,214	10,784	12,850	11,619	11,029	12,641	
売上原価	8,094	7,670	8,581	8,858	8,292	7,998	8,497	9,619	9,670	8,837	10,266	
売上原価率（%）	81.7	78.6	78.4	73.5	81.6	78.3	78.8	74.9	83.2	80.1	81.2	
販売費及び一般管理費	2,045	1,904	1,951	1,959	1,999	1,958	1,927	1,949	1,950	1,876	1,995	
売上高販管費比率（%）	20.6	19.5	17.8	16.3	19.7	19.2	17.9	15.2	16.8	17.0	15.8	
営業利益	△226	180	410	1,229	△123	257	359	1,281	△1	316	380	
売上高営業利益率（%）	△2.3	1.9	3.8	10.2	△1.2	2.5	3.3	10.0	△0.0	2.9	3.0	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△19	145	399	875	△149	169	△1,070	903	△56	196	233	
売上高四半期純利益率（%）	△0.2	1.5	3.6	7.3	△1.5	1.7	△9.9	7.0	△0.5	1.8	1.8	

セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）												
売上高	セキュリティコンサルティングサービス	740	905	881	1,209	714	922	956	1,268	740	881	995
	セキュリティ診断サービス	411	504	464	1,072	397	556	585	1,036	385	609	558
	セキュリティ運用監視サービス	1,405	1,385	1,507	1,524	1,460	1,516	1,511	1,730	1,475	1,572	1,713
	セキュリティ製品販売	1,555	1,261	1,570	1,661	1,761	1,361	1,303	1,577	2,285	1,489	1,751
	セキュリティ保守サービス	311	194	430	381	164	143	280	271	175	157	254
	合 計	4,425	4,251	4,854	5,849	4,498	4,500	4,638	5,884	5,062	4,709	5,272
セグメント利益		208	383	542	1,185	201	523	538	1,102	173	384	307

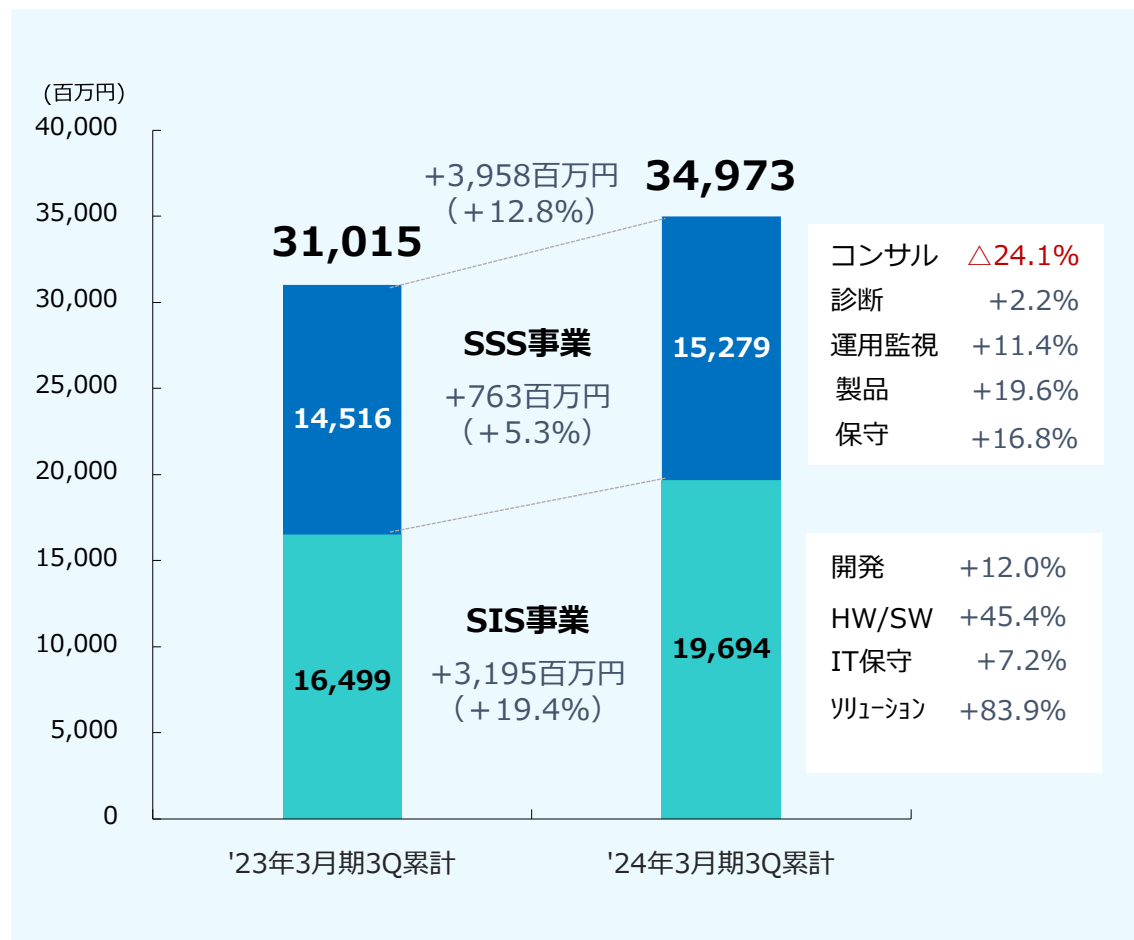
システムインテグレーションサービス事業（SIS事業）												
売上高	開発サービス	3,343	3,821	4,007	4,184	3,731	4,021	4,158	4,443	4,154	4,427	4,828
	HW／SW販売	440	551	799	701	415	496	603	944	692	685	1,030
	I T保守サービス	1,171	711	903	641	961	733	909	696	1,018	722	739
	ソリューションサービス	532	419	378	671	560	463	475	882	690	485	771
	合 計	5,488	5,503	6,089	6,198	5,669	5,714	6,146	6,966	6,556	6,320	7,369
セグメント利益		507	694	778	1,005	731	769	798	1,129	801	861	1,065

全社共通	△942	△896	△909	△960	△1,057	△1,035	△977	△950	△976	△930	△993	
------	------	------	------	------	--------	--------	------	------	------	------	------	--

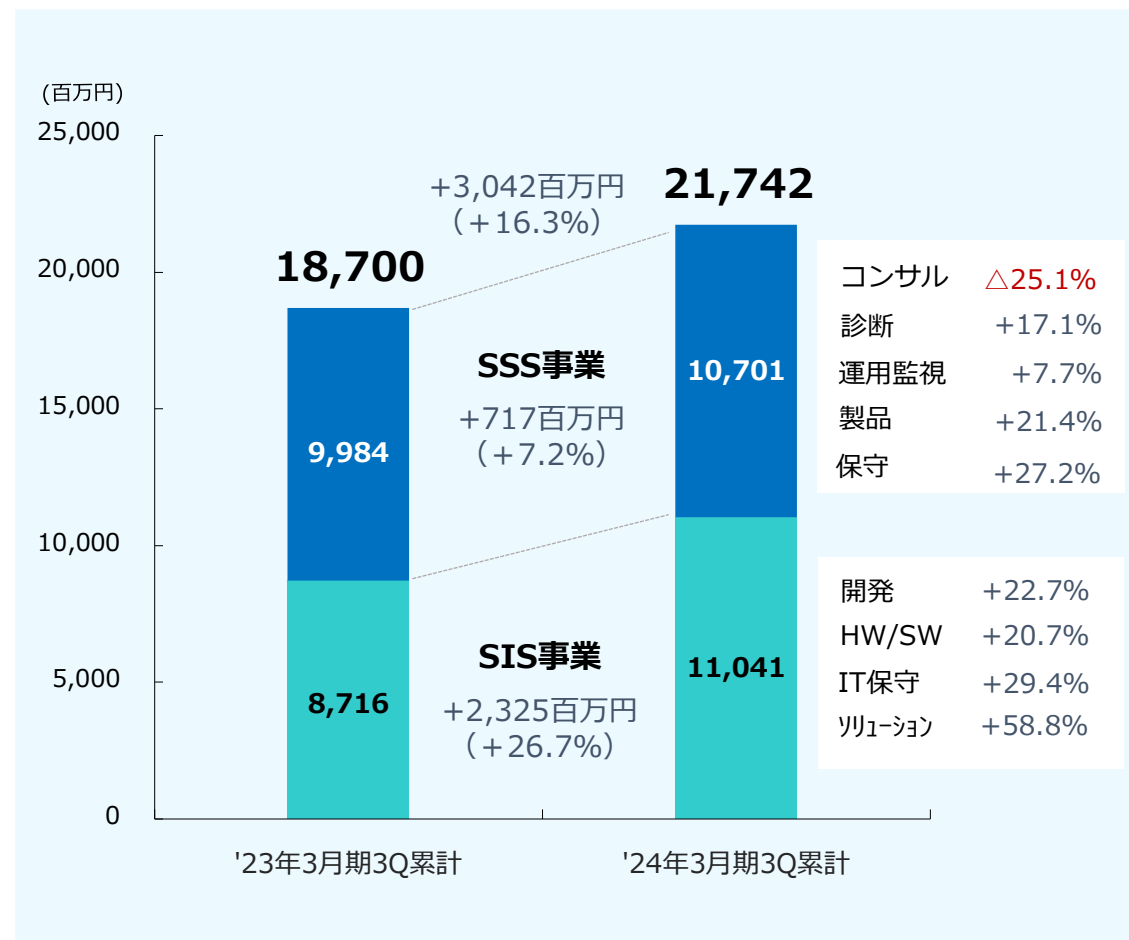
（注）SSS事業の'24年3月期第1四半期からのサブセグメント間（コンサルティングサービス、診断サービス、運用監視サービス）の事業組み替えについて、'23年3月期は遡って組み替えた数値を反映していますが、'22年3月期は同組み替えを反映していません。

# セグメント別受注高・受注残高（前年同期比）

## 受注高



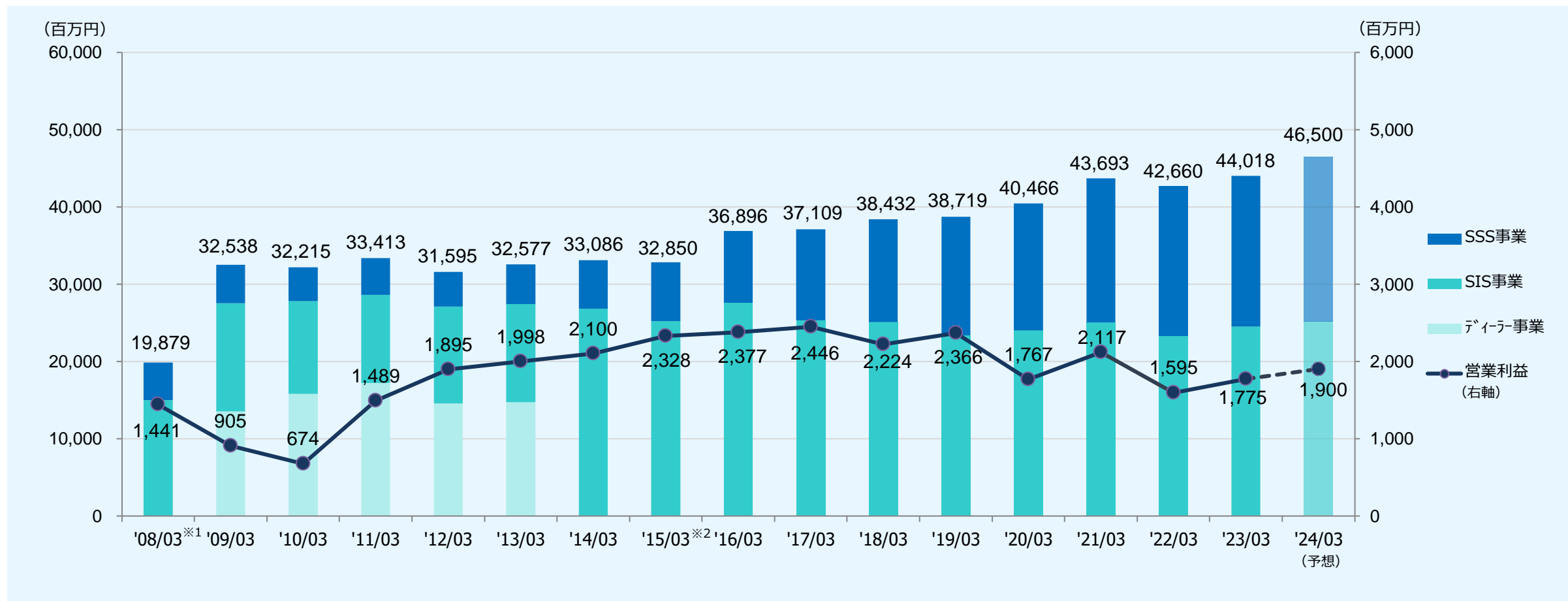
## 期末受注残高



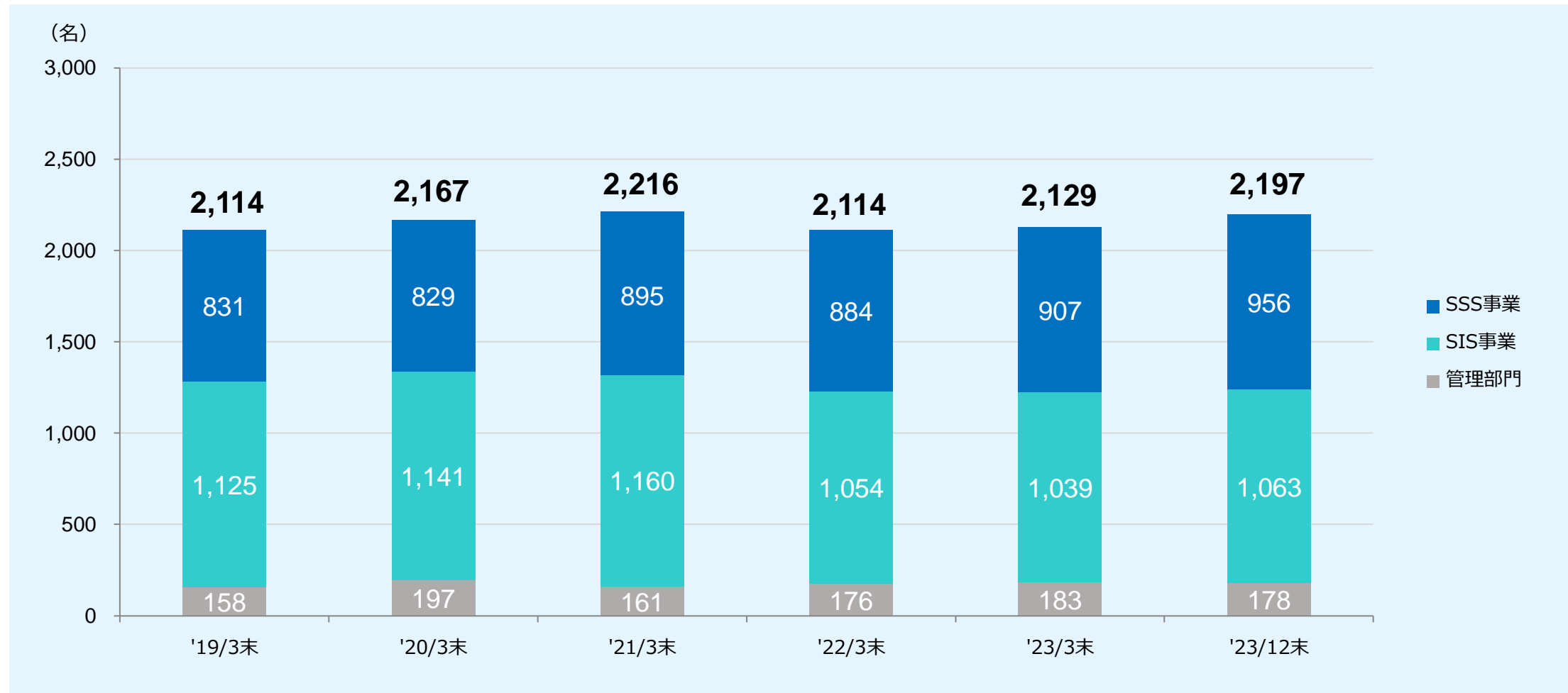
- (注) 1. 受注高、受注残高とも単体の数値です。  
 2. SSS事業の第1四半期からのサブセグメント間（コンサルティングサービス、診断サービス、運用監視サービス）の事業組み替えについて、受注残高は'23年3月期に遡って組み替えた数値を反映していますが、受注高は同組み替えを反映していません。



# 連結業績推移（セグメント別）



- (注) 1. 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。
2. 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。



(注) '22年3月期末の従業員数は、SSS事業において、第1四半期に㈱アジアンリザレクションが㈱ラックサイバーリンクを存続会社として吸収合併したことによる減少影響（21年3月末比較：30名）があります。また、SIS事業において、2021年6月28日にアイ・ネット・リリー・コーポレーション㈱の全株式を売却し、連結の範囲から除外していることから、同社の従業員数(21年6月末時点：97名)が除外されています。

# 会社紹介



(2023年12月31日時点)

会 社 名	株式会社ラック		
住 所	東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー		
設 立	2007年10月1日（前身となる旧ラックは1986年に設立）		
代 表 者	代表取締役社長 西本 逸郎		
資 本 金	26億4,807万5,000円		
業 績	売上高 440億円 営業利益 17億円（2023年 3 月期）		
従業員数	連結 2,197名 単体 1,702名		
拠 点	東陽町オフィス（東京都） 福岡オフィス（福岡県）	ラックテクノセンター秋葉原（東京都） ラックテクノセンター北九州（福岡県）	名古屋オフィス（愛知県） シンガポール支店（シンガポール）
関係会社	<div>セキュリティ</div> <div>株式会社ラックサイバーリンク（東京都） KDDIデジタルセキュリティ株式会社※（東京都） ニューリジェンセキュリティ株式会社※（東京都） ※持分法適用関連会社</div> <div>SIサービス</div> <div>株式会社ソフトウェアサービス（東京都） 株式会社アクシス（福島県）</div>		
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード 3857		

## 他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと 独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供

### 安心・安全なサイバー空間への貢献

#### SSS

##### セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。

##### サブセグメント

- ・セキュリティコンサルティングサービス
- ・セキュリティ診断サービス
- ・セキュリティ運用監視サービス
- ・セキュリティ製品販売
- ・セキュリティ保守サービス

### ITによる豊かな社会への貢献

#### SIS

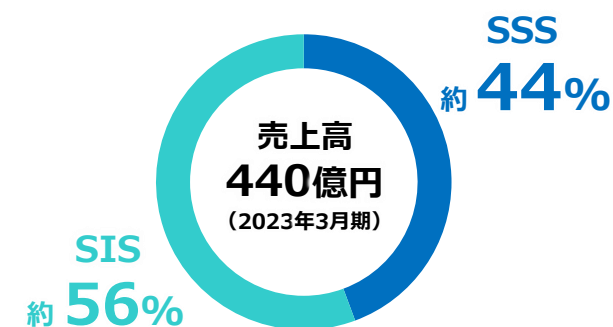
##### システムインテグレーションサービス

大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強みに、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤まで一貫したSIサービスを提供しています。

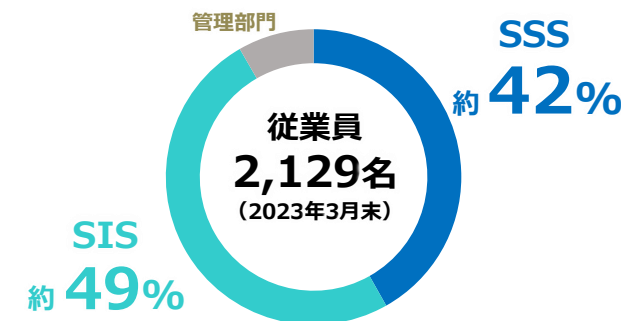
##### サブセグメント

- ・開発サービス
- ・HW/SW販売
- ・IT保守サービス
- ・ソリューションサービス

### 売上高構成比



### 人員構成比



## セキュリティの先駆者として構築してきた 総合的なセキュリティサービス

当社は1995年に、診断サービスから国内初のサイバーセキュリティ事業を開始しました。

まだサイバー攻撃への対処法が定まっていない時代、お客様の要望に応じてサービスモデルを構築し、総合的かつ先端のセキュリティサービスを提供しています。



## 高度な技術・ノウハウを有した セキュリティエンジニアによる専門サービス

当社の特徴は、高度な技術とノウハウを持つ「セキュリティエンジニア」によるサービスを提供していることです。

現場で独自に得られる最新の脅威情報をセキュリティ対策の高度な知見（インテリジェンス）として活用しています。

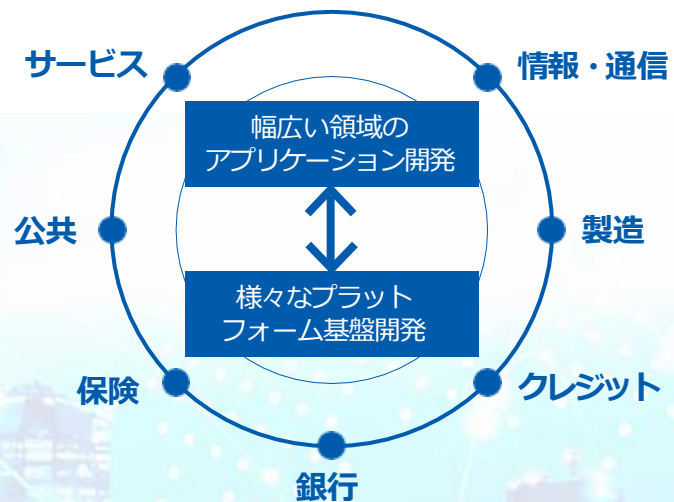




## 安定した収益を生み出す システム開発

独立系ITベンダーとして、30年以上にわたり基盤システムやITインフラを開発してきました。

メインフレームからスマートフォンアプリの開発まで、幅広いプラットフォームの基盤構築とアプリケーションの設計構築に精通しています。



## 常に進化し続け成長していく ユニークな組織や人材



専門的な技術や情報、知見を持って、お客様の課題を解決する組織やセンター群を擁しています。

多様な分野の人材育成とあわせ、専門スキルを評価する人事制度などを充実させ、今後の成長と発展を担う人材の育成・確保に努めています。

### ●JSOC

国内最大規模のセキュリティ監視センター

### ●サイバー救急センター

サイバー被害の救急対応を24時間365日実施

### ●ラックセキュリティアカデミー

専門講師による実践的情報セキュリティ教育

### ●サイバー・グリッド・ジャパン

セキュリティ等の国防・ICT利用啓発等の研究

### ●ラックテクノセンター秋葉原

自動車・IoT機器など種々のシステムに対する侵入テストを行う技術拠点

### ●金融犯罪対策センター

金融犯罪被害の相談と対策支援、防御技術の開発



## 人事・給与・勤怠管理など人事領域全般のシステム開発経験をもとに、 「COMPANY®」導入に伴うデータ移行や周辺システムとの連携機能の開発をサポート

(株)Works Human Intelligenceとソリューションパートナー契約を締結し、同社が提供する大手法人向け統合人事システム「COMPANY®」の導入支援を行う「データ移行・連携システム開発サービス」の提供を開始。

ラックがこれまでに培った「COMPANY®」のデータ知識と導入経験から、効率的なデータ移行を実現。他システムとのデータ連携に際しても、過去の開発実績や汎用的なデータ連携基盤をベースに開発を推進。

### 「COMPANY®」データ移行・連携システム開発サービスの概要

#### 人事領域のスキルやノウハウを活用

会計システムとのデータ入出力、勤怠システムからの勤怠情報の入力、経費精算システムへの組織、人事情報の出力など要件に合わせて開発

#### データの特性に合わせた移行を実現

これまでに培ったスキルやノウハウを活かし、「COMPANY®」のデータ知識と導入経験から、現行システムからの効率的な移行を支援

#### 周辺システムとのデータ連携で 効率的にインターフェースを開発

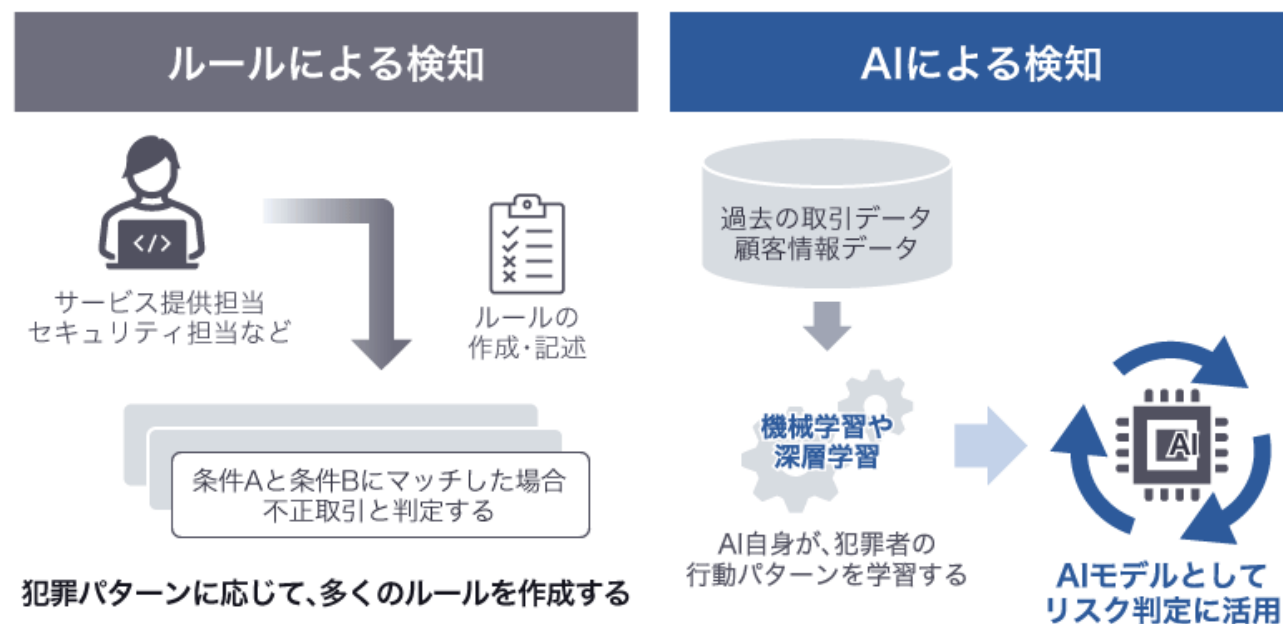
過去の開発実績、およびラックが開発した汎用的なデータ連携基盤をベースに、インターフェースシステムの開発を効率的に推進

## 不正取引検知ソリューション「AIゼロフラウド」の提供を通して不正取引対策の高度化を実現し、千葉銀行の特殊詐欺対策や不正口座対策への取り組みを支援

(株)千葉銀行に対して、人工知能（AI）による不正取引検知ソリューションの提供で合意。

犯罪者が行う取引の特徴などをもとに取引の不正リスクを分析・判定する仕組みにAIを活用。不正取引検知ソリューションで概念実証実験（PoC）を行い、特殊詐欺における不正取引や不正口座の高い検知精度を実現。

### AI検知の特徴



(注) 不正口座：犯罪によって得た資金の受け渡しに用いられる口座。犯罪利用を目的として偽造身分証などを用いて開設された口座や、第三者からの譲渡・売買によって不正に犯罪者が取得した口座で加害口座とも呼ばれる。



※本資料は2024年2月8日時点の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※この配付資料に記載されている業績目標、将来の見通しなどの記述はいずれも、当社グループが作成時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは経済情勢や社会動向等の様々な経営環境の変化によって、直接・間接に影響を受けるものであり、実際の業績、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。